

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月6日
【会社名】	ブロードメディア株式会社
【英訳名】	Broadmedia Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橋本 太郎
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂八丁目4番14号
【電話番号】	03(6439)3983
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 植村 保彦
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂八丁目4番14号
【電話番号】	03(6439)3983
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 植村 保彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成27年1月30日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

たな卸資産評価損

当社「コンテンツ」セグメントのクラウドゲーム事業において、事業の収益化が当初の想定よりも遅れていることから、保有するゲーム機等の在庫について評価減が必要であると判断し、個別決算及び連結決算において、たな卸資産評価損を計上いたしました。

関係会社株式評価損及び「のれん」の減損

当社の持分法適用関連会社であるGクラスター・グローバル株式会社（以下、GCG社）の事業の進捗が当初の計画より遅れていることから、投資回収が困難であると判断し、当社が保有する同社株式について減損処理を実施いたしました。個別決算においては、同社株式について関係会社株式評価損を特別損失に計上し、連結決算においては、同社株式に係る「のれん」の全額について持分法による投資損失として、営業外費用に計上いたしました。

貸倒引当金繰入額

上記の減損処理と同様の判断に基づき、GCG社への貸付金について個別決算において650百万円、連結決算において311百万円の貸倒引当金を設定いたしました。

また、当社の取引先への貸付金について、返済の遅延等が生じていることから、回収可能性を保守的に判断し、個別決算及び連結決算において、貸倒引当金159百万円を計上いたしました。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

（個別）

当該事象の発生により、平成27年3月期第3四半期の個別決算において、たな卸資産評価損487百万円を売上原価に計上し、関係会社株式評価損1,284百万円及び貸倒引当金繰入額809百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損は、連結財務諸表上は消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

（連結）

当該事象の発生により、平成27年3月期第3四半期の連結決算において、たな卸資産評価損487百万円を売上原価に計上いたしました。また、持分法による投資損失609百万円を営業外費用に計上し、貸倒引当金繰入額471百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上